

平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年6月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 フロイント産業

コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 哲郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 伏島 柳二郎

TEL 03-5908-2611

四半期報告書提出予定日 平成21年7月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	3,497	15.1	382	153.3	373	113.2	208	125.4
21年2月期第1四半期	3,039	17.4	150	△21.8	175	△17.8	92	△35.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	48.26	—
21年2月期第1四半期	21.41	—

(注)平成21年6月1日付けをもって、普通株式1株につき2株に分割しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年2月期第1四半期	11,845		7,685	63.8		1,753.84
21年2月期	12,495		7,481	58.9		1,708.19

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 7,561百万円 21年2月期 7,364百万円

(注)平成21年6月1日付けをもって、普通株式1株につき2株に分割しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	—	—	30.00	30.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	17.50	17.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注)平成21年6月1日付けをもって、普通株式1株につき2株に分割しております。

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	6,800	9.5	470	10.5	530	△0.2	300	△0.4	34.79
通期	13,500	0.2	960	0.2	1,100	4.1	630	1.7	73.06

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注)平成21年6月1日付けをもって、普通株式1株につき2株に分割しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第1四半期	4,600,000株	21年2月期	4,600,000株
② 期末自己株式数	22年2月期第1四半期	288,752株	21年2月期	288,752株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第1四半期	4,311,248株	21年2月期第1四半期	4,311,632株

(注)平成21年6月1日付けをもって、普通株式1株につき2株に分割しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年秋からの世界的金融市場の混乱や先行き不透明感の高まりを受け、国内においても企業収益および設備投資の減少や、雇用情勢の悪化等、引き続き厳しい状況が続いております。

当社グループの主要ユーザーであります医薬業界は、国際的な合従連衡の時代を迎えその勢いは国内外で更に加速し、海外製薬会社も積極的に日本市場へ進出するなど、各社は国際的な競争力を高めていく必要に迫られております。

こうした情勢のもと、当社グループは、独創的な新製品の開発や技術サービスの充実を行うなど、顧客ニーズを捉えた効率的な営業活動を展開するとともに、積極的に新分野への拡販を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計年度の業績は、売上高34億97百万円（前年同期比15.1%増）、営業利益3億82百万円（同153.3%増）、経常利益3億73百万円（同113.2%増）、四半期当期純利益2億8百万円（同125.4%増）となりました。

〔事業の種類別セグメント〕

・機械部門

機械部門においては、海外では世界的な景気後退の影響を受け、売上高が減少したものの、国内においては前期より手掛けていた案件が売上計上されるなど、好調に推移いたしました。この結果、売上高は22億36百万円（同9.8%増）、営業利益は3億19百万円（同126.0%増）となりました。

・化成部品部門

化成部品部門においては、機能性添加剤および栄養補助食品が堅調に推移いたしました。この結果、売上高は、12億61百万円（同25.9%増）、営業利益は1億63百万円（同61.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億50百万円減少し、118億45百万円となりました。増減の主な内訳は、受取手形及び売掛金及び仕掛金が減少したことによるものであります。

また、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億55百万円減少し、35億78百万円となりました。増減の主な内訳は、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加し、76億85百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少し、28億78百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は33百万円となりました。これは主に、売上債権の減少、たな卸資産の減少等の増加要因はあったものの、仕入債務の減少、法人税等の支払等といった減少要因により微増となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は50百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は1億26百万円となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月期の業績予想につきましては、概ね予想どおり推移しており、本資料の公表時点において、平成21年4月10日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については原価法から原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

③「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、これによる損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,878,461	2,985,598
受取手形及び売掛金	3,101,820	3,285,885
商品及び製品	321,239	291,123
仕掛品	1,069,486	1,562,854
原材料及び貯蔵品	417,646	402,644
前払費用	126,317	108,479
繰延税金資産	198,727	177,699
その他	128,324	104,527
貸倒引当金	△37,493	△34,803
流動資産合計	8,204,530	8,884,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,023,256	1,022,368
土地	1,186,891	1,185,559
その他(純額)	357,510	336,084
有形固定資産合計	2,567,658	2,544,012
無形固定資産		
投資その他の資産	83,968	95,269
繰延税金資産	241,389	239,146
その他	762,186	747,400
貸倒引当金	△14,283	△14,315
投資その他の資産合計	989,291	972,231
固定資産合計	3,640,918	3,611,513
資産合計	11,845,449	12,495,522
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,964,890	2,670,332
未払法人税等	186,140	186,600
前受金	694,674	903,569
賞与引当金	257,898	187,569
役員賞与引当金	15,618	59,000
その他	459,294	427,174
流動負債合計	3,578,516	4,434,246
固定負債		
退職給付引当金	132,594	130,645
負ののれん	63,680	65,629
その他	385,434	383,522
固定負債合計	581,708	579,797
負債合計	4,160,225	5,014,043

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,282,890	1,282,890
利益剰余金	5,861,281	5,782,552
自己株式	△201,085	△201,085
株主資本合計	7,978,685	7,899,956
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,257	5,763
為替換算調整勘定	△425,698	△541,283
評価・換算差額等合計	△417,441	△535,519
少数株主持分	123,979	117,041
純資産合計	7,685,224	7,481,478
負債純資産合計	11,845,449	12,495,522

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	3,497,800
売上原価	2,358,340
売上総利益	1,139,460
販売費及び一般管理費	757,081
営業利益	382,378
営業外収益	
受取利息	2,647
受取技術料	3,215
その他	4,838
営業外収益合計	10,701
営業外費用	
支払利息	101
為替差損	16,939
その他	2,808
営業外費用合計	19,848
経常利益	373,231
特別利益	
貸倒引当金戻入額	96
特別利益合計	96
税金等調整前四半期純利益	373,328
法人税等	167,475
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,213
四半期純利益	208,066

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	373,328
減価償却費	51,695
賞与引当金の増減額 (△は減少)	70,328
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43,381
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	139
受取利息及び受取配当金	△2,984
支払利息	101
売上債権の増減額 (△は増加)	199,532
たな卸資産の増減額 (△は増加)	520,931
その他の資産の増減額 (△は増加)	△26,571
仕入債務の増減額 (△は減少)	△701,550
前受金の増減額 (△は減少)	△249,087
その他の負債の増減額 (△は減少)	8,080
その他	14,878
小計	215,440
利息及び配当金の受取額	5,176
利息の支払額	△101
法人税等の支払額	△186,992
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,523
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△447
有形固定資産の取得による支出	△40,448
出資金の分配による収入	1,350
保険積立金の積立による支出	△10,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△18,046
配当金の支払額	△108,569
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△107,136
現金及び現金同等物の期首残高	2,985,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,878,461

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

	当連結会計年度（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）				
	機械部門 (千円)	化成品部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,236,636	1,261,164	3,497,800	—	3,497,800
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,236,636	1,261,164	3,497,800	—	3,497,800
営業利益	319,398	163,521	482,919	△100,540	382,378

(注) 1. 事業区分の方法

当連結グループの事業区分は、製品の種類、製造方法の類似性等を考慮して区分しております。

2. 各事業区分に属する主要製品

事業区分	主要製品
機械部門	粉粒体機械装置、粉粒体機械のプラント設備及び粉粒体関連機器、計器・部品
化成品部門	医薬品添加剤、食品品質保持剤及び栄養補助食品、製薬・食品・化学等の開発研究、処方検討等の受託、治験薬製造の受託及び仲介

〔所在地別セグメント情報〕

	当連結会計年度（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）				
	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,116,038	381,761	3,497,800	—	3,497,800
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	20,518	10,166	30,684	△30,684	—
計	3,136,557	391,928	3,528,485	△30,684	3,497,800
営業利益	510,368	△29,109	481,258	△98,879	382,378

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北 米……………米国

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月1日～5月31日)

科目	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,039,300
II 売上原価	2,156,173
売上総利益	883,126
III 販売費及び一般管理費	732,166
営業利益	150,960
IV 営業外収益	27,611
V 営業外費用	3,484
経常利益	175,087
VI 特別利益	2,562
VII 特別損失	36
税金等調整前四半期純利益	177,613
税金費用	80,229
少数株主利益または損失 (△)	5,056
四半期(当期)純利益	92,327